

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 6 月 30 日

評価対象事業	環境 - 23	笛田リサイクルセンター管理運営事業	☐ 法定受託事務
所管課	環境部 環境センター		評価者 環境センター課長 鈴木 真理
一般	会計	款 20	項 10
目 10			
総合計画上の位置付け	分野名	生活環境	施策の方針名 3 Rの推進・ごみの適正処理

1 事業の目的

対象	市民等	意図	資源の有効活用を図り、廃棄物の再使用、再生利用に関する啓発及び推進を図るため。
効果	ごみの排出抑制、資源の再使用、再生利用が図られる。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業 （事業終了予定年度： 年度） ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	資源物選別施設の運営・維持管理事業及び廃棄物の減量・資源化に関する啓発事業	資源物選別施設の運営・維持管理事業及び廃棄物の減量・資源化に関する啓発事業	資源物選別施設の運営・維持管理事業及び廃棄物の減量・資源化に関する啓発事業
予算額（千円）	270,600	254,893	
国県支出金			
地方債	23,900		
その他	42,524	40,620	
一般財源	204,176	214,273	0
当初人員配置数	4.1	8.0	0.0
人件費（千円）	20,690	29,504	0
事業実績	資源物選別施設の運営・維持管理事業及び廃棄物の減量・資源化に関する啓発事業		
決算額（千円）	244,818		
国県支出金			
地方債	23,200		
その他	42,289		
一般財源	179,329	0	0
人員配置実績数	4.1	0.0	0.0
人件費（千円）	20,156	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
						（上段実績、下段経費（千円））		
活1	指標名							
	実績につながる活動							

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果指標No （最大3つ）
成1	計画停止期間を除く施設停止の日数	日	0	0	0			

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	・ 外部要因は特にない
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	・ 計画的な保安全管理により、年間を通じて施設停止ゼロの安定運用を達成した。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	・ 日常点検と定期保全に努め、資源物選別処理機能を計画通り運用することで、市民が排出したアルミ缶・スチール缶及びガラスビン等の適正な資源化処理に寄与した。これにより、ごみの排出抑制、資源の再使用、再生利用に貢献した。

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	☐ 増えている	☒ 変わらない	☐ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	☒ 市	☐ 国・県	☐ 民間事業者 ☐ なし
	有効性	事業の成果	☒ 十分に出ている	☐ 概ね出ている	☐ 出していない
	効率性	事業費削減余地	☐ ある	☒ なし	
		関連・類似事業との統合	☐ できる	☒ できない	
方向性	公平性	受益者負担	☐ 導入済	☐ 導入予定	☒ 導入できない
		評価実施年度の方向性 ⇒	評価実施翌年度以降の方向性		
	事業内容の方向性	☒ 事業内容は現状通り ☐ 事業内容は見直し済 ☐ 事業を休止又は廃止済 ☐ 他事業と統合済	⇒	☒ ① 事業内容は現状通りとする ☐ ② 事業内容は見直す → ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 ☐ ③ 事業は休止又は廃止する ☐ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する → 事業へ統合	
	予算規模の方向性	☒ 予算規模は現状維持 ☐ 予算規模は拡大済 ☐ 予算規模を縮小済	⇒	☒ ① 予算規模は現状維持とする ☐ ② 予算規模は拡大する ☐ ③ 予算規模は縮小する	

今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応	結果	具体的な内容	
	前年度の新たな課題への対応結果	前年度は新たな課題なし		
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題	新たに認識された課題はなかった		
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性	新たに認識された課題はなかったため検討なし		
総評		・一般廃棄物を受入れることから、適正かつ安定的な処理が必要であり、機能を維持するために、計画を立て適切な維持管理に努めていく。 ・3Rを推進するためには、行動する市民を育成することが重要であることから、引き続き、展示、学習会及び教室等を開催していく。		上位施策への寄与度
				A

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	各市町村との条件が違うため比較には馴染まない。
----------------------	-------------------------